

必要な 医療と介護は、 国の責任で。



安心して生きられる国へ。

安倍政権は、社会保障のかつてない大改悪を進めています。
格差と貧困が拡大し、「生存権」保障に目を向けず、
平和と民主主義を脅かす政府に、
その怒りは世代を超えて広がっています。

窓口負担

75歳以上の
窓口負担が
2倍に!

軽減措置の廃止

後期高齢者医療制度の
保険料を軽減する特例措置が
廃止されようとしています。
加入者の過半数にあたる
865万人が影響!

現在の保険料(年額)→特例軽減廃止後 **5倍**
Bさん(女性) **5260円→2万6300円**
76歳・娘の扶養家族

※4月1日の参院予算委員会に小池晃議員が出した資料
2015年度に軽減が廃止された場合として試算

食費負担

入院時の食費負担が1食260円から460円に引き上げられ
ようとしています。

1か月入院で1万8000円の負担増!

入所制限

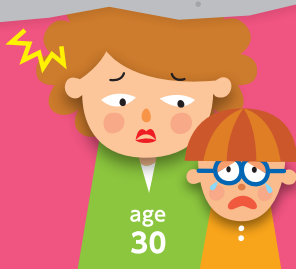
特養ホームの入所条件が「要介護3以上」に制限され、
多くの介護難民を生んでいます。

受診抑制

子ども、障害者(児)、ひとり親世帯など、
医療をより必要とする人や経済的に困難を
抱えている人たちへの自己負担の押し付けは、
**受診抑制による重症化をまねき、
医療費は結局高くなるおそれがあります。**

保険外し

政府は、要支援1・2の訪問介護・通所介護の
介護保険給付を外しました。



だれもが安全・安心の医療と介護を受けられるよう、署名にご協力ください。

中央社会保障推進協議会・全国労働組合総連合・全日本民主医療機関連合会

[問い合わせ先] 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階 TEL.03-5808-5344 FAX.03-5808-5345